

次回総合計画審議会によせて

ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン

小林りん

まずは、各委員の皆さまがご多忙を極めていらっしゃるなか貴重なお時間を割かれて会議にご出席されているところ、（7月から半年間渡米しております関係で）欠席せざるを得ませんことをお詫び申し上げます。また、本審議会に限らず多方面から様々な意見が寄せられているであろうなか、このように取りまとめの労をとって下さっている事務局の皆さまにも心より感謝を申し上げます。以下、事前送付頂いた資料を拝読しての感想です。

【資料3】

教育と産業をトップに持ってきてくださり、ありがとうございます（個人的には、順序は産業、次に教育、でも良いのではないかと感じております）。学びに関する重点政策の例についてですが、今後、平行して行われている教育政策の有識者会議での議論を反映しながら内容を詰めていかれると理解しております。その際に、現在「五感を鍛え主体性を育む、信州の特性を生かした自然教育・野外教育の推進」「学び続ける信州人の基礎となる幼児教育の充実・強化」などは反映されていると思いますが、「信州発スクールイノベーション（教員研修改革、校務支援システム導入）」も非常に重要な（しかも既に進行中の）政策だと思いますので、こちらも含めていただければ幸いです。

【資料4】

「確かな暮らしが営まれる美しい信州」に代わる新たなフレーズについて、先日の議論を踏まえた委員の皆様のご意見拝読いたしました。個人的な印象ですが、「確かな暮らし＝堅実さ」を想起します。もちろん、堅実さは信州人の大きな特長で誇りでもあると思います。しかし、これからは既往路線を踏襲しているだけでは未来が開けてきません。大きな変化の荒波の中を、果敢にクリエイティブに自ら変革しながら進んでいく長野、という能動的で躍動感のある議論が会議中には感じられるので、それが反映されるようなフレーズになれば、ここまでの議論が一層活きてくるのではないかと存じます。そうした意味で、事務局さんからの「未来」「学び」などのキーワードを含めるというご提案に強く賛同いたします。私はコピーライターではないので素人の発想で甚だ恐縮ですが、例えば、「未来への希望とともに 全ての人が学び創造し続ける信州へ」と言ったニュアンスでしょうか…（学ぶだけでなく、その結果を創造へ結びつけることも重要かと思っております）。